

グリーティング

先日、ちょっとした用があつて鎌倉に出かけました。平日でコロナ禍のせいか街中も人は少なく、車の移動も楽で、予定より早く用は済みました。ランチに珍しくタイ料理を食べ、せっかくなので、海に向かうことにしました。葉山の方がきれいですよとの、どなたかのアドバイスで真名瀬海岸に車を走らせました。

駐車場から少し歩いて浜へ…。夏の賑わいが終わり寂しい感じの海、陽の光にきらきら輝く海、人影もなくがらんとした砂浜を歩くと、潮の香をいっぱい含んだいい風が吹いていきます。秋の風です。海鳥がゆったり大きく羽ばたく姿を見ながら、秋を感じました。猛暑とコロナで辛かった夏を越えて、ようやく出会えたうれしい秋です。新しい生活様式のまま、春から夏そして秋へ。マスクも手洗いもずっと続けて迎える秋。

日本の自然、四季の巡りがとてもありがたく思えます。 S. K



行く先々で秋が…

技工情報

◎チタンの諸性能について

前々回、前回に続き、チタンの諸性能についてご紹介致します。

◎チタンの特性

- 1) 融点
チタンの純度により、多少の差はできますが、一般的には1670℃前後と非常に高くなっています。
- 2) 酸化や酸素の固溶
高温での酸素との親和性が非常に高く、鑄造体表層に強固な反応層が形成されます。その結果、酸素を多量に固溶し、強く硬くなるが、伸びが減少して脆くなってしまいます。但し、この反応層を除去すれば、内部は金合金のタイプⅢ、Ⅳの硬さに相当します。
- 3) 比重
比重は4.5と非常に軽く、金合金の1/4、Co-Cr合金の約半分程度となります。
- 4) 耐食性
酸素の存在する環境では、表面に緻密で安定な不動態被膜を形成し、この薄膜の安定により、金合金に匹敵する高い耐食性を持つ事になります。



チタン鑄造体のアズキャストの状態



臨床例①—口腔内(6)に装着されたチタン鑄造冠